

平成27年白浜町議会第1回定例会 会議録(第5号)

1. 開 会 平成27年3月20日 白浜町議会第1回定例会を白浜町役場
議場において10時00分開会した。

1. 開 議 平成27年3月20日 10時05分

1. 閉 議 平成27年3月20日 11時31分

1. 閉 会 平成27年3月20日 11時31分

1. 議員定数 14名

1. 応招及び不応招議員の氏名
第1日目のとおり

1. 出席及び欠席議員の氏名

出席議員 14名 その議席番号及び氏名は、次のとおりである。

1番	溝口	耕太郎	2番	三倉	健嗣
3番	辻	成紀	4番	岡谷	裕計
5番	堀	匠	6番	長野	莊一
7番	水上	久美子	8番	楠本	隆典
9番	西尾	智朗	10番	廣畑	敏雄
11番	古久保	恵三	12番	南	勝弥
13番	玉置	一	14番	丸本	安高

欠席議員 なし

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名は、次のとおりである。

事務局 長 泉 芳 明 事務主査 田中 健介

1. 地方自治法第121条の規定により、議場に出席した者の職氏名は、次のとおりである。

町 長	井 潤	誠	副 町 長	林	一 勝
教 育 長	鈴 木	勇	会 計 管 理 者	大 谷	博 美
富田事務所長					
兼農林水産課長	瀬 見	幸 男	日置川事務所長	青 山	茂 樹
総務課長	田 井	郁 也	税 務 課 長	高 田	義 広

民生課長	中村 貴子	住民保健課長	三 栖 健 次
生活環境課長	坂本 規生	観光課長	古 守 繁 行
建設課長	笠中 康弘	上下水道課長	堀 本 栄 一
国体推進課長	廣畑 康雄	消 防 長	古 川 泰 造
教育委員会		日置川事務所	
教育次長	寺脇 孝男	地籍調査室長	中 本 敏 也
総務課副課長	榎本 崇広		

1. 議事日程

- 日程第1 議案第32号 平成26年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第3号) 議定について
- 日程第2 議案第33号 平成26年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議定について
- 日程第3 議案第34号 平成26年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議定について
- 日程第4 議案第51号 平成26年度白浜町一般会計補正予算(第10号) 議定に
ついて
- 日程第5 議案第35号 平成27年度白浜町一般会計予算議定について
(委員会審査報告)
- 日程第6 議案第36号 平成27年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定に
ついて (委員会審査報告)
- 日程第7 議案第37号 平成27年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定につ
いて (委員会審査報告)
- 日程第8 議案第38号 平成27年度白浜町介護保険特別会計予算議定について
(委員会審査報告)
- 日程第9 議案第39号 平成27年度白浜町住宅資金貸付事業特別会計予算議定に
ついて (委員会審査報告)
- 日程第10 議案第40号 平成27年度白浜町土地取得特別会計予算議定について
(委員会審査報告)
- 日程第11 議案第41号 平成27年度白浜町健康交流拠点施設事業特別会計予算議
定について (委員会審査報告)
- 日程第12 議案第42号 平成27年度白浜町簡易水道事業特別会計予算議定につ
いて (委員会審査報告)
- 日程第13 議案第43号 平成27年度白浜町農業集落排水事業特別会計予算議定に
ついて (委員会審査報告)
- 日程第14 議案第44号 平成27年度白浜町下水道事業特別会計予算議定につ
いて (委員会審査報告)
- 日程第15 議案第45号 平成27年度白浜町水道事業特別会計予算議定につ
いて (委員会審査報告)

日程第16 議案第46号 平成27年度白浜町土地開発公社事業計画及び会計予算の
提出について (委員会審査報告)

日程第17 選挙第1号 公立紀南病院組合議会議員の選挙について

日程第18 発委第2号 閉会中の継続調査申出書 (議会運営委員会・総務文教厚生常任委員
会・観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会)

1. 会議に付した事件

日程第1から日程第18

1. 会議の経過

○議長

皆さん、おはようございます。

ただいまから白浜町議会平成27年第1回定例会5日目を開会いたします。

日程に入る前に事務局長から諸報告を行います。

番外 事務局長 泉君

○番外(事務局長)

諸報告を行います。

ただいまの出席議員は14名であります。

予算審査特別委員長から付託案件について審査結果報告書が提出されていますので、配付しております。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

日程第17号 選挙第1号 公立紀南病院組合議会議員の選挙についての議案書をお手元に配付しております。

以上で諸報告を終わります。

○議長

諸報告が終わりました。

ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本日を以て予定案件をすべて審議したいと考えていますので、ご協力をよろしくお願ひします。

ここで、去る3月13日、白浜町教育委員会委員に任命されました尾崎 恵さんより挨拶の申し出があります。

これを許可します。

尾崎さん、どうぞお願いします。

(尾崎氏 入場)

(挨拶)

(拍手)

○議長

尾崎さん、本日は大変ご苦労さまでした。

11番 古久保君から3月11日の一般質問中の発言について発言を求められておりますので、これを許可します。

11番 古久保君（登壇）

○11番

おはようございます。

毎度毎度訂正で演壇に立たせていただきましてありがとうございます。

3月11日の一般質問中で最終のほうに水道料金の大口未納の件で最終興奮しまして、当局側の答弁がままならなかったもので興奮しまして、自分でもあまり言葉はつきり覚えてないんですけども、ちょっと不適切な言葉を使ったということで訂正させていただきまして、ご迷惑をおかけしたことをお詫びしたいと思います。

よろしくをお願いします。

○議長 長

お諮りします。

11番 古久保君から3月11日の一般質問中における発言について一部不穏当発言があったため、会議規則第64条の規定により発言の訂正の申し出がありました。

この訂正を許可することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議長 長

異議なしと認めます。

よって、11番 古久保君の発言の訂正を許可することに決定いたしました。

当局に申し上げます。議員の一般質問については、町の行財政全般にわたり質問する権利でありますので、当局におかれましては一般質問の答弁に対しては事前に十分協議し、また真摯な態度で答弁に臨むよう強く求めます。

また、議案審議における議員の質疑に対しては事前に説明資料等を準備し、答弁の訂正がないよう本会議、委員会に臨むよう重ねて申し添えます。

それでは、これより本日の会議を開きます。

（1）日程第1 議案第32号 平成26年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）議定について

○議長 長

日程第1 議案第32号 平成26年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。

（なしの声あり）

○議長 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議長 長

質疑を終結します。討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

議案第32号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第32号は原案のとおり可決されました。

(2) 日程第2 議案第33号 平成26年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) 議定について

○議 長

日程第2 議案第33号 平成26年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) 議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結します。討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

議案第33号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第33号は原案のとおり可決されました。

(3) 日程第3 議案第34号 平成26年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第3号) 議定について

○議 長

日程第3 議案第34号 平成26年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第3号) 議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。

8番 楠本君

○8 番

議案そのものに対しての異議ではございませんけれども、下水道の見直しについて一部地方紙に載りました。そういうことも踏まえて、下水道事業というのはどこの市町村も大変な事業であると。この基本方針については昔は下水道特別委員会というのをつくって、いろいろと議論してきたわけなんですけれども、所管の委員会でも十分議論をされてあると思うんですけれども、今後の田辺湾の汚染問題については田辺市が全然手を付けていないと。そういう意味で、東白浜地区の部分については計画の見直しは妥当な線だと思うんですけれども、今後の経営ということから考えると、長期にわたって下水道事業というのは大変な部分があると思うんです。そういう部分について長期総合計画も踏まえて、見直しも踏まえて、下水道事業全般についての今後どのような格好でなされていくのか。その点について課長または当局の考え方について聞きたいと思います。

○議 長

番外 上下水道課長 堀本君

○番 外（上下水道課長）

今議員おっしゃられたように大変下水道事業の経営状況は難しくなっております。ご存じのように累積赤字もございます。そういうことの中で、全体計画を縮小しながらということになってこようかと思えます。下水道事業自体国の補助金をいただいてずっと事業を進めておるんですけれども、今言ったように事業全体を縮小しながら、それから大口施設の大量排出者のつなぎ込みも今以上にさせていただくようにいろいろと方策を考えながらいきたいなど。それでなかったら、累積赤字をずっと引きずっていくということになりますので、ここで事業もあらたな投資を必要としないような事業ということで進めていきたいと考えております。

また、こういう事業は住民の方のご協力、ご理解が必要ですので、今後ともそういう啓発も進めていきたいと考えております。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外（町 長）

今楠本議員からもご指摘いただきましたようにこの下水道事業につきましては、長年の課題がずっとありまして、今回もその見直しを行うことによって少しでも将来にできるだけこの事業を推進していく上でメリットが出るような格好で今考えています。

その中で私が就任しましてからも下水道事業については、特につなぎ込み、大口、小口に関わらずいろいろと重ねてまいりましたが、まだまだ十分と言えないと思えます。

ですからこの辺も公平、公正の面からもできるだけ町民の皆様にご理解をいただくために、啓発あるいは周知といったものを広報等で進めてまいりたいと思っております。大きな課題でありますので、また皆様方のご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議 長

8番 楠本君

○8 番

今課長、町長に答弁いただいたんですけれども、やはりこういう部分については議会にも十分相談してほしいと思えますし、計画全体を国に縮小の計画が理解されたというふうに理解するわけなんですけれども、そうしたら合併浄化槽に、いわゆる除外した対象区をどのよう

に進めていくかも含めて、今後議会にも十分相談をし、所管の委員会にもやってもらいたいということを要望しておいて私の質問を終わります。

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結します。討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

議案第34号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第34号は原案のとおり可決されました。

(4) 日程第4 議案第51号 平成26年度白浜町一般会計補正予算(第10号)議定について

○議 長

日程第4 議案第51号 平成26年度白浜町一般会計補正予算(第10号)議定についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

番外 町長 井潤君(登壇)

○番 外(町 長)

本日、新たにご審議をお願いいたします案件の提案理由につきまして、ご説明申し上げます。

議案第51号 平成26年度白浜町一般会計補正予算(第10号)議定につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に1億円を追加し、歳入歳出予算総額を128億4,338万3千円と決めました。

今回の補正につきましては、主に地域住民生活等緊急支援のための交付金に関連する補正でございます。

以下、その概要をご説明申し上げます。

今回の補正の主なものと致しまして、総務費につきましては、総合戦略策定事業 900万円、白浜アートプロジェクト事業 150万円、国際交流事業 100万円、町ホームページ多言語化等事業 400万円。

民生費につきましては、安心生活基盤構築事業 1,000万円、子ども医療費助成事業 820万円。

観光費につきましては、スポーツツーリズム推進事業 200万円、体験型観光強化事業 900万円、観光おもてなし力向上事業 200万円、白浜町観光ビジョン策定事業

600万円、旅行エージェントタイアップ事業 2,550万円、観光プロモーション事業 250万円、アクセスバス運行事業 180万円、白浜地場海産品等販売促進事業 300万円、プレミアム商品券発行補助事業 1,450万円でございます。

その主な財源は、国庫支出金 △49万円減額、県支出金 7,837万円追加、繰入金 △1億8,846万円減額、繰越金 2億1,028万円追加、町債 30万円追加でございます。

また、関連事業等の16件の繰越明許費及び補助災害復旧事業の地方債補正を定めました。

以上、詳細につきましては、担当課長からご説明いたしますので、ご審議の程よろしくお願ひ申し上げます。

○議 長

続いて、補足説明を許可します。

番外 総務課長 田井君（登壇）

○番外（総務課長）

議案第51号 平成26年度白浜町一般会計補正予算（第10号）議定について、議案書（P.134～135）に基づき、説明した。

○議 長

提案理由の説明が終わりました。

本案に対する質疑を行います。

2番 三倉君

○2 番

歳入の話で8ページ、災害復旧費のことです。支出のほうでは財源の更生と書いてあるわけなんですけども、これが一般財源から使ってきてこの工事をしたということになるんですけども、なぜ県費補助金がかつかなんだのかという点についてお尋ねしたい。

○議 長

番外 総務課長 田井君

○番外（総務課長）

目4の災害復旧費国庫負担金で49万円の減額といたしますのは査定の結果だと思っておりますが、詳細は建設課長から説明をさせていただきます。

○議 長

番外 建設課長 笠中君

○番外（建設課長）

災害の国庫補助金の49万円につきましては、当初は災害査定のときには工雑も入るわけです。工事雑費。精算のあたり工雑を除かれるということで、その分を除いて起債のほうに回しているということです。

○議 長

2番 三倉君

○2 番

工雑がだいたい普通事務費として使えるのはありがたい話になろうかと思うんですけども、それは見積もりというかその辺が甘かったと解釈したらいいのですか。

○議 長

番外 建設課長 笠中君

○番外 (建設課長)

この工雑の出し方につきましても査定官にチェックをいただきました金額でございますので間違いないです。

○議長

12番 南君

○12番

13ページをお願いします。備品購入費なんですけども、体験型の事業に使われることはこれでいいのです。ありがたいなんですけども、日置にはスクールバスとかデマンドとか今度これも体験型で使われますけども、相互の融通というのは難しいのですか。スクールバスだったらスクールバスだけでしょう。これだったらおそらく体験型で公社のほうに行くのはそれでいいんですけども、足らんとか遊んでいるバスというかお互いに融通できるような体制にはなっていないんですか。

○議長

番外 日置川事務所長 青山君

○番外 (日置川事務所長)

今おっしゃられるように、日置川ではスクールバス、それと送迎コミュニティー、いろいろとあるんですけども、それはそれぞれの許可とか認可もありますので、今回それを体験型にというのはちょっと無理があると思うので、今回言われるように体験型のほうに充実ということでこういうお願いをしたところです。

○議長

12番 南君

○12番

今回は法的な規制があるのかわかりませんが、なにかあっちこっちバスがたくさんあって、その割には利用率、スクールバスでも本当に極端な話、朝夕だけでしょう。それをもっと有効に利用できるんですかね。こんなのも含めて検討してください。

○議長

番外 日置川事務所長 青山君

○番外 (日置川事務所長)

その辺日置川で運行している分を含めて一度検討、勉強してみます。

○議長

11番 古久保君

○11番

昨日も全員協議会でお話したんですけども、この予算全体的に見て、なんら特別に1億円をもらったという感じがしないんですね。内容を見れば本来なら一般財源でやらなん案件ばかりがここに載っている気がするんです。これは本来なら一般でやっていかならん事業です。特別に1億円もらってということであれば、これが毎年1億円、5年間続くんでということであれば、特別にそういうものに使っていくという発想。

10ページに有識者会議15人、年6回という形で設けていますけども、この辺の人選もどういうふうにされるのか。どういう形で人選されるのか。それによってどういうものがで

きていくのか。これから考えていくんだらうと思うんですけども、その辺の考え方。

とにかく白浜は今危機なんです。危機という感じはお持ちでないんですか。この予算1億円、私町民の皆さんに聞かれて、国から予算1億円下りたんちがうん。白浜は何に使いやると聞かれたときに私は自信持ってよう答えないです。町長答えられますか、この白浜の現況を見て。その辺がものすごく私は心配するんですけども。ちょっとその辺答弁お願いしたいと思います。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町長)

昨日も皆様方から大変貴重なご提言をいただきましたし、私どもは皆様方のご意見を真摯に受け止めて、今後どうやって今の閉塞感といいますか、町の中の状況というのをしっかりと把握した上で、やはり危機感を持ってやらないといけないと思っております。

今回27年度の新予算ということで、補正ということで、今回限られた時間の中で担当課を中心に誠心誠意考えまして、今回のこういった予算になったわけですけども、結果的にこれといったものがないと言われたらそれまでかもしれませんけれども、私どもはまずは即効性のある、効果のあるものを吟味して、まず地域支援型については考慮したつもりでございます。

それから、地方創生の部分につきましては、昨日も申し上げましたけども、総合戦略策定事業というのがございますので、その中で平成27年度中にしっかりとまとめて、それを平成28年度以降にいかに充実させていくかということで、今回は試用期間だと、この27年度は。それについてはビジョンを示して観光戦略、そしてまたほかの総合事業についても総合的に戦略を立ててやっていくべきだと考えてございます。ですから、これで終わりではなく、皆様方の真摯なご意見をいただきまして、私どもとしましてもできるだけ観光振興、そしてまた地元の活性化に結びつけて反映していきたいと思っております。

この有識者会議の選考にあたりましても幅広くまとめていきたいと思っておりますし、町の職員だけでできるものではないと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議 長

11番 古久保君

○11 番

それはぜひともお願いしたいんです。

もうひとつこれは私の発想かもわかりませんが、お金を使って町民を巻き込んだ事業、町民の意識が、余分なお金が1億円入ったんやと。これを機に活性化しようやないかというこの気持ちを引っ張り出していくような感覚でお金を。観光に5,000万円以上使っておられますけども、この観光、本当に疲弊しているんですよ。今まで町なかで潤っていた商売人さんがほとんどシャッターを閉められて商売にならない。その中で、代わりに外資、外からの業者が増えてきて、本当に昔からの白浜を愛してくれた業者がだんだん店を閉めていくんですよ。その名残が薄れていくんですよ、白浜に。だから、この間から経営者の顔が見えないというこの白浜の現状を。プレミアムで割引券を使って旅館へお客さんを送っていく。そのことによって旅館の宿泊客が増えるけども、それを経営者はどう考えているのか。

我々の貴重な金を使ってそういう形でお客さんを呼び込んでいる。それが本当に経営者に伝わっているのか。我々辛抱してこういうふうにやっているんですよというところが経営者に伝わっているかというのが私はちょっと定かでないんですよ。経営者の顔が見えないというのはそこにあるんです。町民は四苦八苦しているんです。だから生活にならん、商売にならんから閉めていくんです。その現状を知っていただいているのか。

だから、観光協会においても迫力がないというのはそこにあるんだろうと思うんです。観光協会の会員さんが減ってきている。観光協会に入っても何もないやないかというところ。本当に白浜温泉をもっと活性化させようやないかというすべてトップから町民まで、トップで経営している方がそういう感覚で白浜温泉を見てもらわなかったらここ10年やそこら、私は白浜温泉潰れると思うんですよ。なんかこのままでおったら大変なことになるんじゃないかなと。本当に空き家の旅館ばかりふえて、外からの経営者だけで、泊まった客の宿泊費は全部白浜町内に落ちんと外へ持って行かれる。全然これが町民に還元されてないんですよ。この辺の悲しいところを私は常々思っているんです。その辺もつとこのお金を有意義に使ってほしいなど、これが機会であるから。本来の目的は一極集中から地方へ若い人を住んでもらうようにするんでしょう。定着してほしいんでしょう。白浜町の人口を増やすんでしょう。そのためにお金を使わせてもらえるんでしょう。そのところをもうちょっと考えていただきたいなど。この内容を見ていたら私にはそれが先が見えないんですよ。すみませんが、もう一度。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

今議員からご指摘いただきましたように、今回の事業の中でそういった町なかの活性化策ですとか、あるいは具体的にもつと町民を巻き込んだ取組みができていないんじゃないかと。あるいは経営者の顔が見えない状況が多々あるというご指摘をいただきまして、それは確かに私も感じるところでございます。ですから、これで終わりではなくて、先ほど申し上げましたように、この中には一部ですけれども、白浜アートプロジェクト事業とか民間の方々、特に町民以外の方もそうですけれども、この地域で活性化しようということで立ち上がった事業もございます。

それから、おもてなしの部分でいいましても、観光おもてなし力の向上事業ということで、これも民間の方々を巻き込んで旅館、ホテル等の観光業に携わっている方にもお願いをしましてやっていこうと思っておりますので、それだけではないんですけれども、それ以上にもつと考えていかなければいけないのは将来のビジョンと申しますか、将来の白浜をどうするかということで、一昨日も総務課のほうに指示しましたがけれども、いかに定住人口を増やしていけるのか。観光客の誘致もそうですけれども、誘客のみならず定住人口を増やしていくような取組みが、先般高野町でも空き家を借り上げて、それを賃貸していくという記事も出ておりましたので、そういうこともひとつの方向として、方策としてできないものかということで今考えてございます。ですから、これは県もそうですし、全国的にもほかの自治体も取り組むことだと思いますけれども、やはり定住促進ということで、せつかくある地域資源、温泉なら温泉をもつと還元できないかと言うことで今考えてございまして、これを1年間かけてしっかりとまとめて、長期総合ビジョンということで、戦略ということでまとめて27

年、28年度以降とつなげていきたいなと思ってございます。ですから、先ほども申し上げたように町だけではできませんので、まず民間の方々、町民の方々もしっかり議論をいただいて、それでより良い白浜の町づくりに生かしていきたいなと思っております。これも謙虚に皆様方のご意見を参考にさせていただいて、これからも真剣に取り組んでまいりたいと思っております。

○議 長

6番 長野君

○6 番

ちょっと確認をさせていただきたいと思います。この地域住民生活等支援のため。これは1年間の関係という形のとらまえ方でよろしいのかが1点。

そして、総合戦略の策定事業についてこれは5年間という形ですけども、私が思うのはこの総合戦略の策定が我々白浜町にとっての今後を決める最後の機会と考えております。そうした中で先ほど古久保議員もおっしゃいましたように町内、町外を問わずに戦略の策定を。そのためには人材登用というものも是非考えていただきたい。そして、委員の中にも各分野の人たちを登用していただいて、より良い総合戦略の策定をしていただきたいと思います。町長どうでしょうか。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

今回の消費喚起・生活支援型というのは27年度のできるだけ早い段階で1年間の中で即効性のあるもといいますか、それをやっという事で国が支援していただけるもので、これをしっかりとやった上で27年度から先のことももちろんありますけれども、まずはこの1年間27年度の新年度で結果を出していきたいと思っております。

それから、地方創生先行型につきましては、先ほども申し上げましたように地方版、白浜版の総合戦略を先の5年間を見据えて、まずしっかりと27年度中にまとめるということがございますので、この中に白浜町の大きなビジョンといえますか将来像を示すということが必要だと思っておりますので、これをしっかりと1年をかけて皆様のいろんなご意見を聞きながら、そしてまた参考にしながら総合戦略をまずはつくって、それを町の将来像、人口減少にも歯止めをかけるとか観光振興をどうしていくんだとか、あるいはこれからもっともって地方を豊かに、そしてまた白浜町のまちづくり、根本的なことを当然考えていかないといけないことがたくさんございますので、その中でまとめていきたいと考えてございます。

○議 長

1番 溝口君

○1 番

昨日も全員協議会で長期、5年間にわたってのさまざまな計画をお聞きしました。その中で、国から創生資金といえますか1億円の補助金が入ると。先ほど古久保議員からもさまざまなご提言がございました。その中で5年間毎年出る補助金であるという形で指摘をされなかったわけですけども、これは5年間出るんですか。

○議 長

番外 総務課長 田井君

○番 外（総務課長）

地域住民生活等緊急支援のための交付金というのは、国の26年度の補正予算で決まったと。それをいただいて今回補正予算に計上させていただいて、それは全額27年度へ繰越し事業を実施するというので1年限りの交付金でございます。

この交付金をいただいて、地方版の総合戦略を繰越事業として27年度につくるわけですが、この計画の実施につきましては、28年度以降新たな新型交付金が本格実施されるということ国から説明を受けております。

○議 長

1番 溝口君

○1 番

ということは、今回1億円の補正を国からいただいて、それは昨日ご説明を頂戴したような事業に白浜町が着手をして、それから今の総務課長の話でしたら、新たにその事業を開始して新たな交付金とかそういった補助金があると。その金額というのは今回と同じような1億円ですか。それと、年数、5カ年ですから27年度から始まって28、29、30という形で国から交付されるんですか。

○議 長

番外 総務課長 田井君

○番 外（総務課長）

28年度以降の交付金というのは今のところ詳細は決まってございません。

○議 長

1番 溝口君

○1 番

本会議が始まる前に議長から町当局に議員各位の質問に対して、内容について精査をしてしっかりとした答弁をしていただきたいと。

今古久保議員がご質問されていたときにはこれから毎年1億円がいただけるという発言があったと思います。それを聞きまして昨日の全員協議会では質問がなかったけども、これから毎年1億円がもらえるかなど。古久保議員の質問に対して今日当局からの訂正といいますか、そうでなくてと。今総務課長がおっしゃったような答弁がまったくございませんでしたので、そういった形で関連でお聞きさせていただいたわけであります。

冒頭議長が言いましたように、もう少しやはり議員の質問の内容を把握していただいて、その場その場ですから細かい数字を聞かれた場合に数字を答えられない場合も多々あるかと思うんですけども、基本的なことについては議員も勘違いして発言をする場合もあるわけですから、そういった形について町当局について昨日説明をしたばかりであります。それも時間をかけて。ですから、我々よりもそういった交付税についても把握をされているわけですから、議員の質問につきましては耳を傾けて緊張感を持って聞いていただいて、訂正するところは訂正していただかないと。このままでしたら私の認識では古久保議員がおっしゃって、町がなにも訂正なかった。これだったら毎年今後5年間1億ずつ入るんやなと認識するわけであります。そう思いまして今関連で質問をさせていただいておるんですけども、もうちょっとしっかりしていただきたいと思っておりますけども、町長どうですか。

○議 長

番外 副町長 林君

○番外(副町長)

古久保議員からのお尋ねで5年間1億円と町長が答弁したようなことはなかったと思います。

○議長

休憩します。

(休憩 10 時 54 分 再開 10 時 55 分)

○議長

再開します。

番外 町長 井潤君

○番外(町長)

先ほどの古久保議員の毎年1億円が出るのかどうかという質問ではなかったんですけども、今年はたまたま1億円になっておりますけども、平成27年度は当然1億円の予算が出ます。出るというのは決まっておりますので、この分についてはお願いしたいと思っています。それから、地方版の総合戦略というのは先ほど申し上げたように5年間の平成31年度までの計画でございますので、それをしっかりと平成27年度策定の総合戦略で立てていくということでございます。

あと、地方創生先行型の交付金につきましても平成26年と平成27年度分で実施をしていくということなので、今年の交付の考え方というのは地域消費喚起・生活支援型が国から2,500億円という規模が示されています。あと地方創生先行型が1,700億円というのはこの前申し上げたとおりなんですけども、その中で具体的に白浜町がどれだけの予算を獲得していけるかということは来年は来年でまた今から考えながら、1年間試されるといいますか、試用期間だと思っておりますので、また来年度以降は新年度27年度を踏まえて28年度以降は新たに国に対して追加等を要望していきたいと考えてございます。

ですから、決して1億円毎年出るという保証もございません。なにも決まった金額ではございません。それだけご理解いただきたいと思えます。

○議長

番外 総務課長 田井君

○番外(総務課長)

今回の交付金についてちょっと訂正させていただきます。町長が1億円という説明をしたんですけども、交付金の額は7,991万円でございます。事業費として1億円でございます。

○議長

12番 南君

○12番

ちょっとそれに関連してくるんですけども、例えば中学生まで医療費が無料になってきますよね、八百何十万円。これは1年こっきりだったら次年度出ないとしたら、町の予算でやっていくと受け取ってよろしいのですね。きっかけはこれで始めるんですけども、継続するとしたらそうなるわけですね。

○議長

番外 副町長 林君

○番 外（副町長）

今のご質問のとおりでございます。

○議長

8番 楠本君

○8番

昨日全員協議会でかなりの時間を費やして議論したところですけども、一覧表の最後のプレミアム商品券について議論がされてなかったのでもちょっと質問をさせていただきたいと思います。

この分については、今まで商工会がやったことあるんですけども、今国のほうでもばらまきにならない工夫というんですか。例えば、今まで過去のプレミアム商品券でも一家族でこの場所とこの場所とこの場所へ行って3人が買うという例があったんです。家内も樁で買って、次に富田で買ったら得やということを行うので私はやめとけよと言ったんですけども、そういう現実、やはりばらまき型といわれる所以だと思っんです。

今後のプレミアムについては、ある程度広く皆さんに消費を喚起してもらわなければならないことになれば、ここはやっぱりもうちょっと広くほしいんちがうかなと。公開討論で見てもばらまきと言う人もありましたけども、不公平感のないお金持ちが得することのないように。2,000円を3人で買ったら6,000円得やという理屈になるから、ここは工夫してやっていかならんちがうかなと思っんです。ばらまきと言われんような地方の消費を上げていくという方策は全国津々浦々の問題です。この間公開答弁を聞いていて思ったんです。白浜はどのような格好でやっといくのかと。ここらもここですぐできん問題ではないと思っんです。担当課も含めてきちんとばらまきにならないようにここはよろしくお願ひしたいと思っんです。方策があれば聞きたいと思っんです。

○議長

番外 町長 井潤君

○番外（町長）

今危惧されるようなことは我々の中でも議論しております。逆に今回かなりの額でございますし、プレミアム率も20パーセントを考えておりますので、そのあたりかなり反響といひますか買われる方が多いのではないかとと思っております。白浜町の場合、白浜町商工会で5,000セット、日置川町商工会で1,000セットということでかなりの数がありますので、これが売り切れるかどうかというのも片や我々は不安もあるわけです。ですから、その辺のことはもうちょっと議論をしまして、煮詰めた上である程度どういふふう制限するか、条件を付けるのかという辺りを詳しく庁内で検討したいと思っております。

○議長

6番 長野君

○6番

楠本議員との関連なんですけれども、まず一番必要なのは個人でどれだけか金額を決める。これが是非必要だと思っんです。これを決めておかないと格差が必ず生じてくると思っんですので、要望ですけどもそれを是非お願ひしたいと思っんです。

○議長

要望とのことですが何かお考えありますか。

番外 観光課長 古守君

○番外（観光課長）

ただいまいただきました意見、これ私ども商工会にいつものようにお願いしようと思っております。それで、当然今までよりも今町長が申し上げましたように規模的にかなり大きいということの中で、その辺のノウハウは商工会の方々には十分に持ってらっしゃると思いますのでご相談しながら運用してまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長

2番 三倉君

○2番

8ページの歳入の中の県の補助金になっています地域住民生活等緊急支援交付金地方創生先行型ですけども、この金額について別にいただける話なので、問題も何もありませんし、これに対する対応の予算を組んでいるということなので、それはそれでいいんです。

これ先般の全員協議会の席でも話させていただいたんですけども、世耕副官房長官の政治の報告会を聞く機会がありまして教えてもらったら、一応今回この補助金の使い方云々について、とりあえず地方再生のために出してきてもらったらいという話の中で、それが政府として良ければ5年間湯水の如くとはしないにしてもかなりの力を入れたんやと。地方と格差がひどすぎて地方が疲弊しているからということで今の政府としてはこういう施策を緊急に考えたということなんです。

その中から町長は5年間の白浜町戦略云々という格好の予算を付けてやっていくという中で、この予算が今年だけで終わる可能性もあるわけですね、計画がまずければ。査定するのは中央ですからそういうことも肝に入れて、地方のために予算を出すという政府の方針なので、そこら辺を決めてやっていただく中で、来年、再来年と今後5年間にわたってうちが出したら必ず100パーセント補助金をもらえるんやという形の戦略を考えていただきたいなと思えます。

○議長

番外 町長 井潤君

○番外（町長）

今三倉議員からおっしゃっていただいたように、私もその辺はよく承知しております。これからは1年間の結果が求められると思いますので、まずは地方のやる気といいますか本気度が試されると。先ほど申し上げましたように、この1年間は試用期間だととらえておりますので、本気になってしっかりと結果を残す。そして次年度につなげていくということが一番何よりも必要ではないかなと思っております。

○議長

13番 玉置君

○13番

昨日全員協議会でいろいろとmondわけなんですけど、この細かいところですけども、ホームページの委託先とそしてまた観光ビジョンの委託先が400万円と600万円なんです。私はどこに委託してもいいというふうには思っておりません。その委託先はどんな事業であっても入札とかいろんなことがあると思うんです。

はまゆう病院の食事の問題であってもプロポーザルでいろんな方がそれをよしとするかしないか判定をしておる。その内容について判定をしておる。そして委託をすると。これは丸投げであれ、まず先にこういう業者は少ないものやから、以前頼んだところにまた頼むということであろうかと私は危惧するんです。

ひとつ象徴的なことが湯崎のフッシャーマンズワープの商業施設を設計したのは和歌山の設計会社だったと思うんですけども、あれば商業施設でないです。あんなところによい計画させたなと私は今でも思っています。この委託先高々400万とか600万と数字的には少ないですけども、より内容がすばらしいところに、よりいいところに委託をする。それは今の観光ビジョンで600万円しか出ていませんけれども、今後とも続けていくいろんな形の中でこのビジョンを続けていくというのであれば大変重要な項目なので、是非その金額の多寡ではなしに内容を精査した上で事業者に委託をしていただきたい。そして立派なものをつくっていただけるように考えていただいて、発注していただきたいなと思っています。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

今玉置議員から特に策定事業につきましての町のホームページの事業と白浜町観光ビジョンの策定事業についての委託先ということでご質問といたしますかご意見をいただきました。これは私も本来なら庁の中でやっていくのか本来の筋だと思えますけども、なかなか今の職員だけでは難しい面がありますので、やはり公正な面で入札をかけて事業者に対してどこにするかというのをこれから決めていきますけれども、やはり実績のあるところ、そしてまた町のことも把握してもらってもらえるところをしっかりと見極めてその中で入札をやりたいと思っています。

それで、いろんな意見が当然出てくると思うんですけど、やはり白浜町のビジョンを考えるわけですし、当然ホームページのことにしっかりと対応していくわけですから、やはりほかの町、市のホームページとかあるいは観光協会とかいろんなところで良いところと悪いところが当然ありますので、その辺りも参考にしながら、意見を聞きながら、見ながら考えていきたいと思っています。しっかりと結果を出せるように頑張ります。

○議 長

番外 観光課長 古守君

○番 外(観光課長)

観光ビジョンの策定業務のお話がありました。一応私ども担当課としましては公募型もしくは指名型のプロポーザル形式をやりたいと思っています。そこで選定させていただいたもの、これまでどんな実績があるかとかそういったところの資料を出していただきまして、それを庁内で選考委員会を設けまして、その中で業者を決めてまいりたいと考えてございます。

○議 長

11番 古久保君

○11 番

先ほど溝口議員から指摘されまして、私の思い込みで述べたのかどうかわかりませんが、私の思いというのは今年度これだけの県からの7,900万円ですか、一般財源を入れ

て1億円という機会であるから、このお金を有意義に使っていただきたい。このお金によって5年間あと国のほうで査定される。三倉議員も言われましたようにそれが基本というのはある程度わかっていたんです。ですから、今年のこのお金を有意義に使ってこれを基盤にして国へ提出してそれが認められてあと5年間続くようにという思いで私は言ったつもりなので、そここのところ訂正させていただきます。

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結します。討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

議案第51号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第51号は原案のとおり可決されました。

(休憩 11 時 10 分 再開 11 時 15 分)

(5) 日程第5 議案第35号 平成27年度白浜町一般会計予算議定について

(委員会審査報告)

日程第6 議案第36号 平成27年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定
について (委員会審査報告)

日程第7 議案第37号 平成27年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定に
ついて (委員会審査報告)

日程第8 議案第38号 平成27年度白浜町介護保険特別会計予算議定について
(委員会審査報告)

日程第9 議案第39号 平成27年度白浜町住宅資金貸付事業特別会計予算議定
について (委員会審査報告)

日程第10 議案第40号 平成27年度白浜町土地取得特別会計予算議定について
(委員会審査報告)

日程第11 議案第41号 平成27年度白浜町健康交流拠点施設事業特別会計予算
議定について (委員会審査報告)

日程第12 議案第42号 平成27年度白浜町簡易水道事業特別会計予算議定につ
いて (委員会審査報告)

日程第13 議案第43号 平成27年度白浜町農業集落排水事業特別会計予算議定
について (委員会審査報告)

日程第14 議案第44号 平成27年度白浜町下水道事業特別会計予算議定につい
て (委員会審査報告)

日程第 15 議案第 45号 平成 27 年度白浜町水道事業特別会計予算議定について
(委員会審査報告)

日程第 16 議案第 46号 平成 27 年度白浜町土地開発公社事業計画及び会計予算
の提出について (委員会審査報告)

○議 長

日程第 5 議案第 35号 平成 27 年度白浜町一般会計予算議定から日程第 16 議案第 46号 平成 27 年度白浜町土地開発公社事業計画及び会計予算の提出について 12 件を一括議題とします。

本案に対する委員長報告を求めます。

13 番 予算審査特別委員長 玉置君 (登壇)

○13 番

予算審査特別委員会の報告をさせていただきます。

ただいま議題となりました議案第 35号 平成 27 年度白浜町一般会計予算議定についてのほか 11 議案につきまして、予算審査特別委員会における審査の経過及び結果をご報告申し上げます。

議案第 35号から議案第 46号までの議案は去る 3 月 2 日に当予算審査特別委員会に付託され、3 月 16 日、3 月 17 日の 2 日間で議案第 35号 平成 27 年度白浜町一般会計予算議定について担当課の説明を受け、その後、質疑、採決を行いました。

また、3 月 18 日には議案第 36号から議案第 46号までの各特別会計と白浜町土地開発公社会計予算について質疑、討論、採決を行いました。

その結果、議案第 35号から議案第 37号、議案第 39号から議案第 45号の 10 件については、全会一致によりすべて原案のとおり可決いたしました。

議案第 38号については賛成多数により原案のとおり可決しました。

また、議案第 46号 平成 27 年度白浜町土地開発公社事業計画及び会計予算の提出についても原案のとおり全会一致により承認いたしました。

各議案審査の過程においては質疑、提言は広範囲にわたり、総括として町財政は厳しい状況の中、現在継続中の事業を中心とした予算編成であるとするが、町の将来像を確立していくための予算執行に取り組まれないとの意見があったところであります。

当局におかれましては新年度の予算執行について委員会において議決を得たことの重みをしっかりと受け止めていただき、予定事業の推進にあたっていただくことを強く要望して委員会審査の経過及び結果について委員長報告といたします。

終わりにあたり、委員会運営にご協力をいただきました副委員長、ご審議を賜りました各委員の皆様には感謝の意を表しまして報告を終わります。

○議 長

委員長報告が終わりました。

委員長報告に対する質疑を行います。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を終結いたします。

議案ごとに討論、採決を行います。

議案第35号 平成27年度白浜町一般会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第35号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第35号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第36号 平成27年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第36号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第36号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第37号 平成27年度白浜町後期高齢者医療特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第37号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第37号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第38号 平成27年度白浜町介護保険特別会計予算議定に関する討論を行います。

反対討論です。

10番 廣畑君（登壇）

○10 番

27年度の介護保険の議案について反対討論をいたします。

軽度の認定者に対する介護保険外し。サービスを切り捨て地域ボランティアに代替できるのか甚だ疑問であります。

また、事業所の介護報酬の削減、1号被保険者の保険料の値上げも消費税増税、年金削減のもと、高齢者にさらなる負担を強いるものであります。

全体としての町民の介護保険利用の抑制をねらっているのは明らかです。国の社会保障の削減に基づいて露払いともいうべき本予算案には反対をいたします。

○議 長

賛成討論ございますか。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。

異議がありますのでこの採決は起立によって行います。

お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第38号は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

○議 長

起立多数であります。

従って、議案第38号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第39号 平成27年度白浜町住宅資金貸付事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第39号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第39号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第40号 平成27年度白浜町土地取得特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第40号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第40号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第41号 平成27年度白浜町健康交流拠点施設事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第4 1号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第4 1号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第4 2号 平成27年度白浜町簡易水道事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第4 2号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第4 2号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第4 3号 平成27年度白浜町農業集落排水事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第4 3号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第4 3号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第4 4号 平成27年度白浜町下水道事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第4 4号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第44号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第45号 平成27年度白浜町水道事業特別会計予算議定に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は可決すべきものです。

議案第45号は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第45号は委員長報告のとおり可決されました。

議案第46号 平成27年度白浜町土地開発公社事業計画及び会計予算の提出に関する討論を行います。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結します。採決します。お諮りします。

本案に対する委員長報告は承認すべきものです。

議案第46号は委員長報告のとおり承認することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議案第46号は委員長報告のとおり承認されました。

(6) 日程第17 選挙第1号 公立紀南病院組合議会議員の選挙について

○議 長

日程第17 選挙第1号 公立紀南病院組合議会議員の選挙についてを議題とします。
お諮りします。

選挙の方法については地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。

ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。

指名の方法につきましては議長において指名したいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、議長が指名することに決定しました。

公立紀南病院組合議会議員に私岡谷と溝口君を指名します。

お諮りします。

ただいま指名しました2名を当選人とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長

異議なしと認めます。

従って、ただいま指名しました2名が公立紀南病院組合議会議員に当選いたしました。

会議規則第33条第2項の規定により当選の告知をいたします。

(7) 日程第18 発委第2号 閉会中の継続調査申出書 (議会運営委員会・総務文教厚生常任委員会・観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会)

○議長

日程第18 発委第2号 閉会中の継続調査申出書を議題とします

各委員長の申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査を継続することに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議長

異議なしと認めます。

従って、各委員長から申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査を継続することに決定しました。

これをもって第1回定例会に付議された事件はすべて終了いたしました。

閉会にあたり町長から挨拶の申し出があります。

これを許可します。

番外 町長 井潤君 (登壇)

○番外 (町長)

閉会にあたりまして、ひと言ご挨拶を申し上げます。

3月2日に、第1回定例会を召集させて頂いてから、本日まで議員各位には精力的にご審議を賜り、誠にありがとうございました。

平成27年度の当初予算や平成26年度の緊急経済対策予算をはじめ新年度における町政の重要な案件につきまして真摯なご審議を尽くして頂くと共に、町政全般への貴重なご意見やご提言を頂いたところであります。

町政運営に対する厳しいご意見も頂きましたが、提案いたしました案件すべてについて、議決を頂くことができました。

経済対策予算を早期に着手し、地域の消費喚起に努めるとともに、地方創生、白浜創生に向け新年度予算の執行や各種施策につきまして、議員各位からいただきましたご意見やご提言を十分に踏まえながら、事務、事業等の遂行に職員共々全力を尽くしてまいります。

今後とも議員各位のご指導、ご支援の程よろしくお願いを申し上げます。
簡単ではございますが閉会に当たってのご挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

○議 長

挨拶が終わりました。お諮りします。

本日をもって白浜町議会平成27年第1回定例会を閉会したいと思います。

閉会することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

従って、白浜町議会平成27年第1回定例会はこれをもって閉会いたします。

たいへんご苦勞さまでした。

議長 岡谷 裕計は、11時31分閉会を宣した。

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

平成27年3月20日

白浜町議会議長

白浜町議会議員

白浜町議会議員